

「おとうとねずみチロ」

あらすじとポイントをわかりやすく解説

「おとうとねずみチロ」の ないよう

おとうとねずみチロ 登場人物とうじょうじんぶつ

チロ・・三びきの ねずみの きょうだいの おとうとねずみ

ねえさんねずみ・・三びきの ねずみの きょうだいの ねえさんねずみ

にいさんねずみ・・三びきの ねずみの きょうだいの にいさんねずみ

おばあちゃん・・三びきの ねずみの きょうだいの おばあちゃんねずみ

おとうとねずみチロ あらすじ

三びきの ねずみの きょうだいの ところへ、おばあちゃんから 赤と青の けいとで きょうだいの チョッキを あんでいると 手がみか とどきました。

「赤が いいな」と にいさんねずみ。

「青が すき」と ねえさんねずみ。

「赤と 青がいいな」と おとうとねずみのチロが いうと、「チロのはいないよ」と いわれて しんぱいに なります。

字が かけない チロは、おかの てっぺんの 木に 立って、おばあちゃんに よびかけました。



チロの こえは くりかえし ひびきながら おばあちゃんちへ とんでいきました。

なん日か たって、おばあちゃんから 赤と青の しましまの チョッキがチロのところへ とどきました。

チロは また おかの てっぺんの 木へ かけのぼって「ありがとう」と 大ごえて さげびました。

「おとうとねずみチロ」おはなしのポイント

『おとうとねずみチロ』の おはなしでは、だれが どんな ことを したのかな？それぞれの とうじょうじんぶつが した ことや、きもちを かくにんしよう。

だい1のばめん：おばあちゃんから 手がみが とどく

【とうじょうじんぶつ】にいさんねずみ・ねえさんねずみ・

おとうとねずみチロ

【ばしょ】ねずみの きょうだいの いえ

【ないよう】おばあちゃんから 手がみが とどく。チロは、じぶんの チョッキは ないかもしれないと しんぱいする。

ある 日、三びきの きょうだいねずみの ところに、おばあちゃんから 手がみが とどいたね。

手がみの ないようは、「あたらしい 赤と 青の けいとで、きょうだいねずみたちの チョッキを あんでいるので、たのしみに まって いてほしい」という ものだったね。



ねずみのきょうだいたちは よろこんで、それぞれ ほしい チョッキの
いろを いったね。

- ・にいさんねずみ・・・赤い チョッキ
- ・ねえさんねずみ・・・青い チョッキ
- ・おとうとねずみチロ・・・赤と 青の チョッキ

すると、にいさんねずみと ねえさんねずみは、「赤い チョッキと、青
い チョッキだけだから、チロの チョッキはない」と いったね。

「そんなことない」と チロは いったけれど、ほんとうは とても し
んぱいだったよ。

なぜなら、チロは いちばん 小さいので、おばあちゃんが チロの こと
を わすれて しまったのかも しれないと おもったからだね。

チロは しんぱいしたけれど、手がみで おばあちゃんに たのお こと
は できなかつたね。

なぜなら、チロは まだ 小さいので、字が かけなかつたからだね。

そこで チロは いい ことを かんがえたよ。

おばあちゃんの 手がみの ないようは？

→「あたらしい 赤と 青の けいとで、きょうだいねずみの チョッキを
あんでいるので、たのしみに まって いて ほしい」ということ

きょうだいねずみが それぞれ ほしい チョッキは？

- にいさんねずみ・・・赤い チョッキ
- ねえさんねずみ・・・青い チョッキ
- おとうとねずみチロ・・・赤と 青の チョッキ



どうして チロは しんぱいに なったの？

→いちばん 小さい チロの ことを おばあちゃんが わすれて しまったかも しれないと おもったから

どうして チロは おばあちゃんに 手がみで たのむ ことが できないの？

→まだ 字が かけないから

だい2の ばめん：チロが おばあちゃんの うちに むかって さけぶ

【とうじょうじんぶつ】おとうとねずみチロ

【ばしょ】おかの てっぺんの 木の 上

【ないよう】チロが おばあちゃんの うちに むかって さけぶ。

そとへ とびだした チロは、おかの てっぺんの 木の 上に 立って、「おばあちゃん……。 」と よんだね。

すると、チロの こえが くりかえし ひびきながら、とおくまで とんでいったね。

チロは、「ぼくの こえが とんでった。おばあちゃんちへ とんでった。」と うれしかったね。

なぜなら、手がみが かけなくても、こえで チョッキが ほしいことを おばあちゃんに つたえることができるからだね。

チロは、「ぼくは、チロだよ。」と いったあと、いちばん だいじなことを いったね。

それは、「ぼくにも チョッキ、あんでね。」という ことだね。



いちばん だいじな ことだから、「あんでね。」という ことばが きえるまで、チロは じっと 耳を すまして いたんだね。

チロは とびだして どこへ いったの？
→おかの 上まで のぼって、てっぺんの 木に 立ったよ。

おばあちゃんの うちが どこに あるの？
→たにを はさんだ、たかい 山の ずっと おこうがわに あるよ。

チロは なにが うれしかったの？
→チロの こえが おばあちゃんちへ とんでいったことだね。

いちばん だいじな こととは なに？
→チロにも チョッキを あんで もらうことだね。

だい3の ばめん：おばあちゃんから チョッキが とどく

【とうじょうじんぶつ】にいさんねずみ・ねえさんねずみ・
おとうとねずみチロ

【ばしょ】ねずみの きょうだいの いえ

【ないよう】おばあちゃんから チョッキが とどく。

なん日か たって、おばあちゃんから 小づつみが とどいたね。

中には、けいとの チョッキが 三まい 入っていたよ。

いちばん 大きい 赤い チョッキは、にいさんねずみの チョッキだね。

つぎに 大きい 青い チョッキは、ねえさんねずみの チョッキ。



そして、小さい 赤と 青の よこじまもようの チョッキが ちろの チョッキだったね。

ちろは、赤と 青の チョッキが ほしいと いていたので、いったとおりの 赤と 青の しましまの チョッキが とどいて、よろこんで いるんだね。

おばあちゃんからの 小づつみには なにが はいっていたの？
→けいとの チョッキが 三まい 入って いたよ。

チョッキは、それぞれ だれの チョッキなの？
→いちばん 大きい 赤い チョッキは にいさんねずみの チョッキ。
つぎに 大きい 青い チョッキは ねえさんねずみの チョッキ。
小さい 赤と 青の よこじまの チョッキは ちろの チョッキ。

だい4ばんめの ばめん：ちろが おばあちゃんに おれいを いう

【とうじょうじんぶつ】おとうとねずみちろ

【ばしょ】おかの てっぺんの 木の 上

【ないよう】ちろが おばあちゃんに おれいを いう。

ちろは、チョッキを きて、また おかの てっぺんの 木の 上へ かけのぼったね。

そして、おばあちゃんに、しましまの チョッキの おれいを 大ごえで さげんだね。

「ありがとう。」が きえるのを まって、もう 一ど、ゆっくりと



「あ、り、が、と、う。」と いったのは、おばあちゃんに 「ありがと
う」という ことばが ちゃんと とどくように するためだね。

チロは、おばあちゃんが じぶんにも ちゃんと 赤と 青の しましまの
チョッキを あんで くれたことが とても うれしくて、「ありがとう」
という ことばを いちばん つたえたかったんだね。

チロは どこへ いったの？

→おかの てっぺんの 木の 上

チロが おばあちゃんへ いちばん つたえたかった ことばは？

→「ありがとう」

